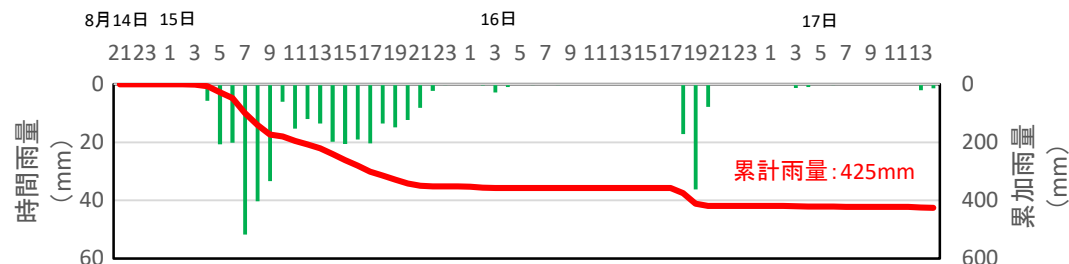


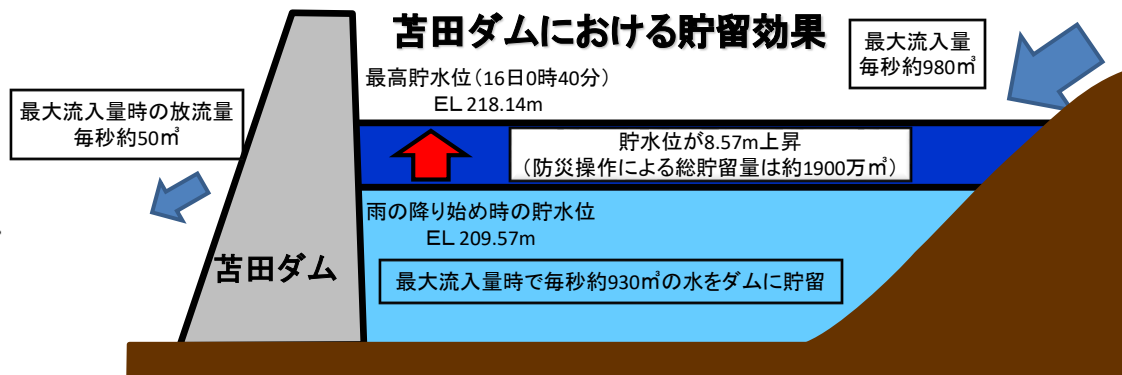
苦田ダムの防災操作による治水効果 (令和5年8月14日～8月17日) ～吉井川津山地点の水位を約3.6m低下～

- 令和5年8月14日から17日にかけて、台風7号の影響により15日7時50分に岡山県と鳥取県で線状降水帯が発生するなど、苦田ダム上流域において、**14日21時から17日14時の累加雨量（流域平均）が425mm**となり、ダムへの最大流入量は管理開始以降最大となる**毎秒約980m³**を記録。
- 今回の防災操作において、**約1,900万m³の水を貯留し**、下流の河川へ流す水量を最大流入時で**毎秒約930m³低減**。
- ダム下流の津山地点（岡山県津山市昭和町）において、**約3.6m**の水位を低減させる効果があったものと推定。

苦田ダム位置図



苦田ダムにおける貯留効果



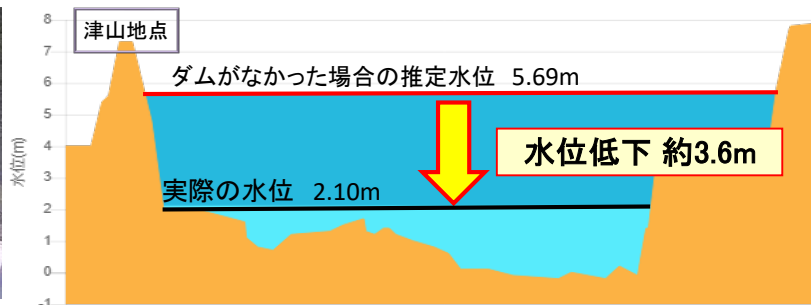
苦田ダム貯水位の状況



苦田ダム放流時の状況



津山市昭和町今井橋付近における水位低減効果



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。

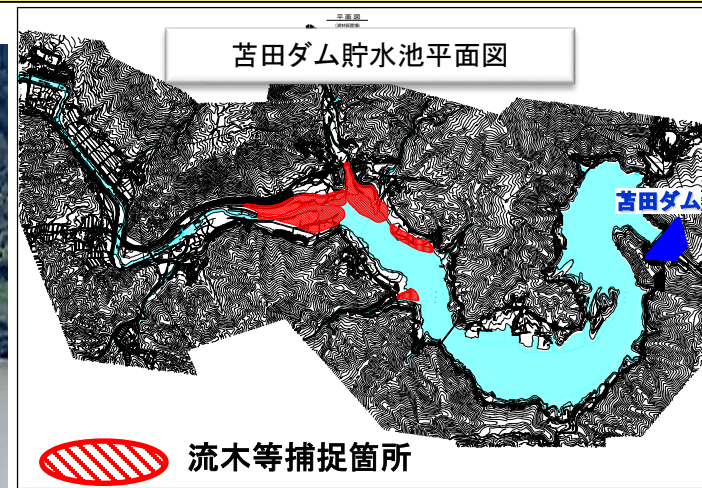
苦田ダムの防災操作による治水効果（令和5年8月14日～8月17日）

- 令和5年8月14日から17日にかけて、台風7号の影響により15日7時50分に岡山県と鳥取県で線状降水帯が発生するなど、苦田ダム上流域において、**14日21時から17日14時**の累加雨量（流域平均）が**4 2 5 mm**となり、ダムへの最大流入量は管理開始以降最大となる**毎秒約9 8 0 m³**を記録。
- 今回、苦田ダムでは、上流から洪水と共に流れてきた**約3, 0 0 0 m³**の流木等をダム貯水池内で捕捉し、ダム下流の流木被害の軽減に貢献した。

※数値は速報値であり、今後変わることがあります。



8月16日 おりづる号撮影



苦田ダム位置図

